

# 令和5年住宅・土地統計調査

## 土地集計結果

### <岡山県分>

令和5年住宅・土地統計調査における土地集計結果について、令和7年3月26日に総務省統計局において公表されました。

この集計結果から本県の概要について、次のとおりお知らせします。

---

#### 目 次

1 世帯が所有している土地の状況 .....	1
2 世帯が所有している現住居の敷地以外の宅地などの状況 .....	3

---

#### 利用上の注意

- 1 本文及び図表の数値は、表章単位未満の位で四捨五入しているため、総数と内訳の合計は必ずしも一致しない。
- 2 「-」は、該当数値がないもの又は数字が得られないものを示す。
- 3 「0」は、集計した数値が表章単位に満たないものを示す。

令和7年3月26日

岡山県総合政策局統計分析課

## 1 世帯が所有している土地の状況

○現住居の敷地を所有している世帯は53.9%〔全国47.1%〕

○現住居の敷地以外の土地を所有している世帯は18.3%〔全国11.8%〕

主世帯794,000世帯〔全国5564万4千世帯〕のうち、現住居の敷地を所有している世帯は428,000世帯〔全国2621万3千世帯〕で、主世帯に占める割合は53.9%〔全国47.1%〕となっている。

また、現住居の敷地以外の土地を所有している世帯は145,000世帯（主世帯に占める割合18.3%）〔全国658万6千世帯（同11.8%）〕となっており、このうち現住居の敷地以外の宅地などを所有している世帯は92,000世帯（同11.6%）〔全国446万7千世帯（同8.0%）〕となっている。〈表1〉

表1 土地の所有状況別普通世帯数—岡山県（2023年）

	総数	土地を所有している世帯		
		現住居の敷地を所有している	現住居の敷地以外の土地を所有している	現住居の敷地以外の宅地などを所有している
実数（世帯）	794,000	428,000	145,000	92,000
割合（%）	100.0	53.9	18.3	11.6

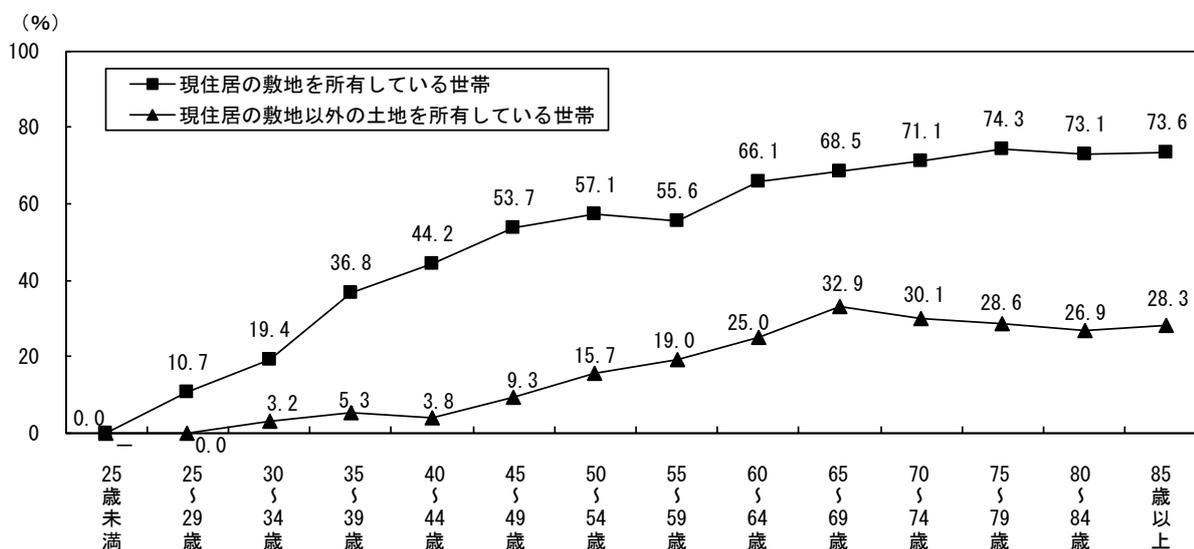
○現住居の敷地を所有している世帯と現住居の敷地以外の土地を所有している世帯の割合は、いずれも家計を主に支える者の年齢階級が高くなるほど高くなる傾向

現住居の敷地を所有している世帯について、主世帯に占める割合を家計を主に支える者の年齢階級別にみると、年齢階級が高くなるほど所有している世帯の割合が高くなる傾向となっており、「60～64歳」から「85歳以上」までの区分ではいずれも65%以上となっている。〔全国：「65～69歳」から「85歳以上」までの区分ではいずれも60%以上となっている。〕

また、現住居の敷地以外の土地を所有している世帯についてみると、こちらも同様の傾向となっており、「60～64歳」から「85歳以上」までの区分ではいずれも25%以上となっている。〔全国：「60～64歳」から「85歳以上」までの区分ではいずれも15%以上となっている。〕

〈図1-1〉

図1-1 家計を主に支える者の年齢階級別土地を所有している世帯の割合—岡山県（2023年）

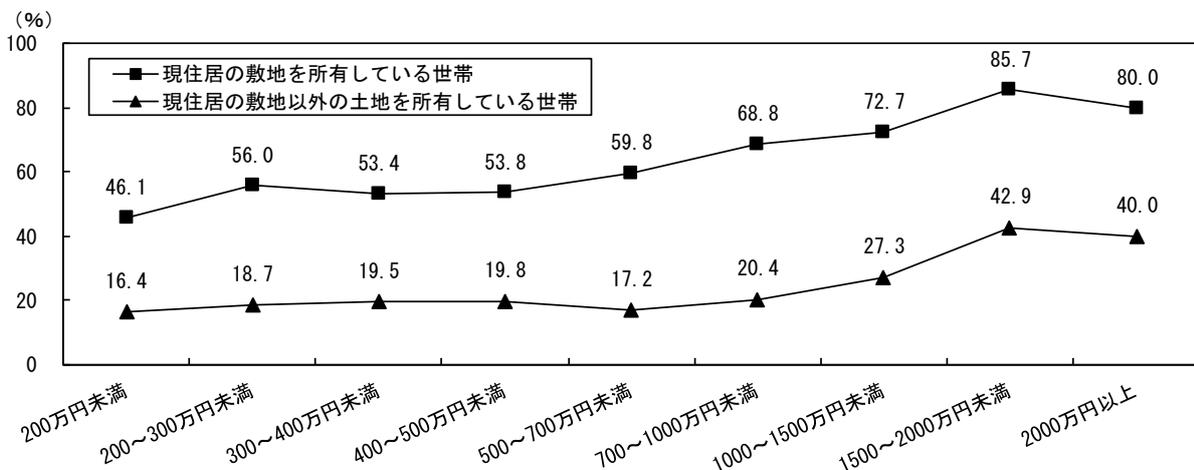


○現住居の敷地を所有している世帯と現住居の敷地以外の土地を所有している世帯の割合は、いずれも世帯の年間収入階級が高くなるほど高くなる傾向

現住居の敷地を所有している世帯について、主世帯に占める割合を世帯の年間収入階級別にみると、年間収入階級が高くなるほど所有している世帯の割合が高くなる傾向となっており、「700～1000万円未満」で60%を超え、「1500～2000万円未満」では85.7%と最も高くなっている。〔全国：「500～700万円未満」で50%を超え、「2000万円以上」では72.7%と最も高くなっている。〕

また、現住居の敷地以外の土地を所有している世帯についてみると、こちらも同様の傾向となっており、「700～1000万円未満」で20%を超え、「1500～2000万円未満」では42.9%と最も高くなっている。〔全国：「1000～1500万円未満」で15%を超え、「2000万円以上」では31.3%と最も高くなっている。〕 <図1-2>

図1-2 世帯の年間収入階級別土地を所有している世帯の割合ー岡山県（2023年）

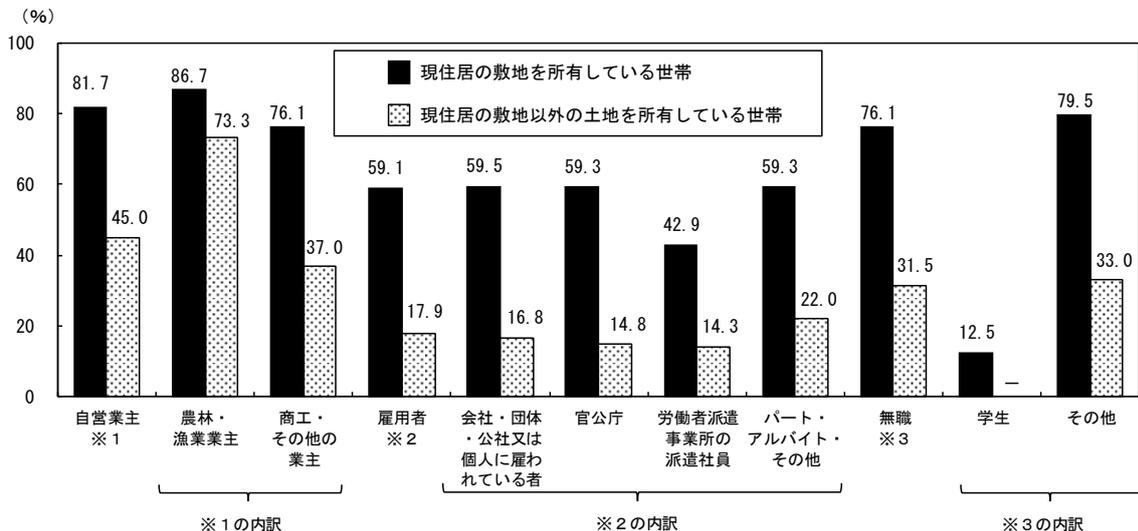


○「自営業主」は、現住居の敷地を所有している世帯と現住居の敷地以外の土地を所有している世帯の割合が高い

現住居の敷地を所有している世帯について、主世帯に占める割合を家計を主に支える者の従業上の地位別にみると、「自営業主」が81.7%〔全国76.5%〕と最も高く、次いで「無職」が76.1%〔全国72.1%〕、「雇用者」が59.1%〔全国56.9%〕となっている。

また、現住居の敷地以外の土地を所有している世帯についてみると、こちらも同様の傾向となっており、「自営業主」が45.0%〔全国36.9%〕と最も高くなっている。 <図1-3>

図1-3 家計を主に支える者の従業上の地位別土地を所有している世帯の割合ー岡山県（2023年）

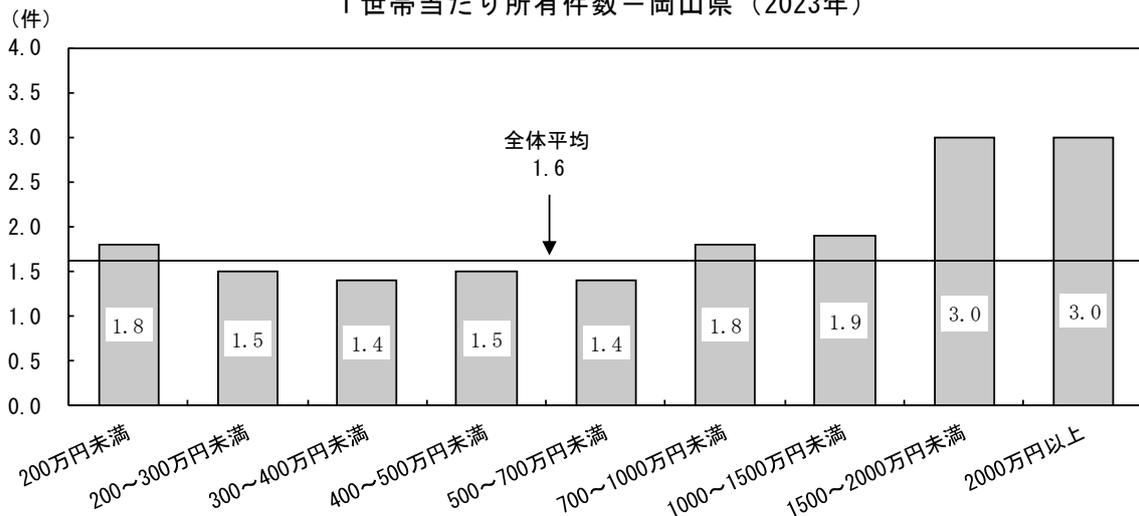


## 2 世帯が所有している現住居の敷地以外の宅地などの状況

○現住居の敷地以外の宅地などを所有している世帯の1世帯当たり所有件数は1.6件〔全国1.6件〕、世帯の年間収入階級が高くなるほど多くなる傾向

現住居の敷地以外の宅地などを所有している世帯について、1世帯当たり所有件数をみると1.6件〔全国1.6件〕となっている。これを世帯の年間収入階級別にみると、年間収入階級が高くなるほど1世帯当たり所有件数が多くなる傾向となっており、「1500～2000万円未満」及び「2000万円以上」では3.0件と最も多くなっている。〔全国：「2000万円以上」では2.8件と最も多くなっている。〕〈図2-1〉

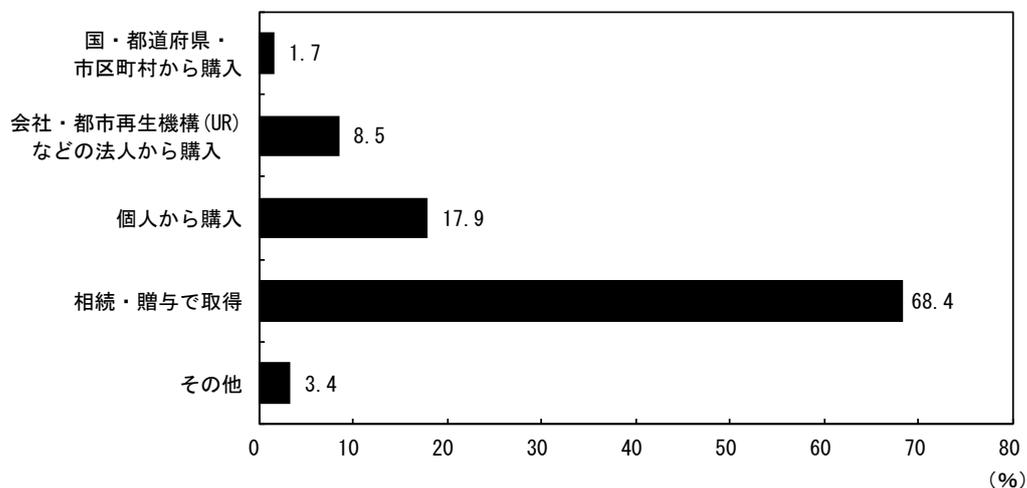
図2-1 現住居の敷地以外の宅地などを所有している世帯の年間収入階級別1世帯当たり所有件数—岡山県（2023年）



○現住居の敷地以外の宅地などの取得方法は、「相続・贈与で取得」が68.4%〔全国65.8%〕

現住居の敷地以外の宅地などの所有件数について、取得方法別に割合をみると、「相続・贈与で取得」が68.4%〔全国65.8%〕と最も高く、次いで「個人から購入」が17.9%〔全国19.0%〕、「会社・都市再生機構（UR）などの法人から購入」が8.5%〔全国10.6%〕などとなっている。〈図2-2〉

図2-2 現住居の敷地以外の宅地などの取得方法別所有件数の割合—岡山県（2023年）



**○現住居の敷地以外の宅地などのうち住宅用地・事業用地の利用現況は、「主に建物の敷地として利用」が69.2%〔全国68.4%〕**

現住居の敷地以外の宅地などの所有件数について、利用現況別に割合をみると、「住宅用地・事業用地」が91.5%〔全国94.6%〕、「その他（原野など）」が8.5%〔全国5.4%〕となっている。

このうち「住宅用地・事業用地」について、その内訳をみると、「主に建物の敷地として利用」が69.2%〔全国68.4%〕と最も高く、次いで「主に建物の敷地以外に利用」が16.8%〔全国16.5%〕、「利用していない（空き地）」が14.0%〔全国15.1%〕となっている。〈表2〉

**表2 現住居の敷地以外の宅地などの利用現況別所有件数の割合－岡山県（2023年）**

現住居の敷地以外の宅地などの利用状況	所有件数（%）	
	割合－1	割合－2
総数	100.0	-
住宅用地・事業用地	91.5	100.0
主に建物の敷地として利用	63.3	69.2
居住用	44.5	48.6
事業用	14.5	15.9
その他の建物	4.3	4.7
主に建物の敷地以外に利用	15.4	16.8
利用していない（空き地）	12.8	14.0
その他（原野など）	8.5	-

○割合－1は、総数に占める割合

○割合－2は、住宅用地・事業用地総数に占める割合

**○現住居の敷地以外の宅地などの所在地は、「現住居と同じ市区町村」が78.0%〔全国70.9%〕**

現住居の敷地以外の宅地などの所有件数について、所在地別に割合をみると、「現住居と同じ市区町村」が78.0%〔全国70.9%〕と最も高く、次いで「自県内」が15.3%〔全国15.0%〕、「他県」が6.8%〔全国14.1%〕となっている。〈図2-3〉

**図2-3 現住居の敷地以外の宅地などの所在地別所有件数の割合－岡山県（2023年）**

